

純利益

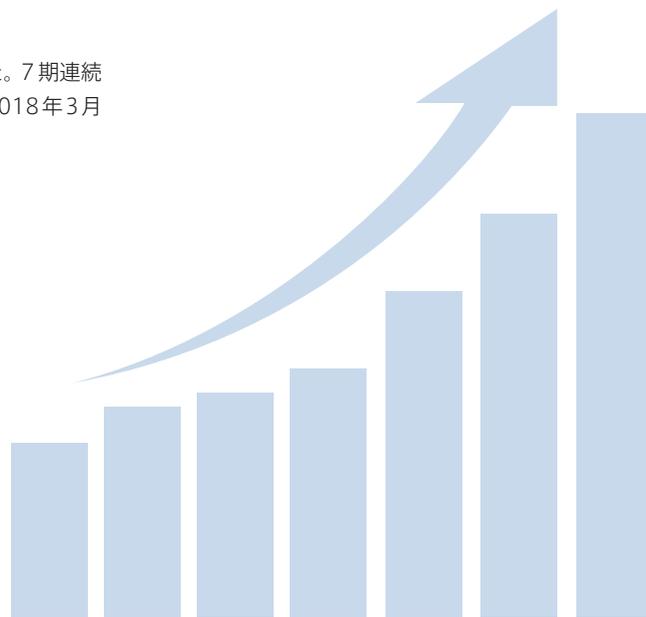
2,602 億円

2016年3月期の当期純利益は前期比11%増の2,602億円となりました。7期連続増益を達成し、最高益を更新しました。オリックスでは、中期目標として2018年3月期の当期純利益3,000億円を目指しています。

セグメント資産

約9兆円

成長のために、資産を大きく伸ばすのではなく、収益性の向上や財務の健全性強化を重視しています。オリックスでは外部環境の変化に合わせて事業ポートフォリオを機動的に変えてきました。例えば、不動産セグメント資産の比率は2007年の22%から2016年には8%まで低下しています。



歴史

52 年

1964年に日本に“リース”という新しい金融手法を導入して以来、オリックスはさまざまな先進的サービスを提供しています。創業翌年以降続く黒字は、オリックスの提供する新しい価値への評価だと考えています。

グローバルネットワーク

37 カ国・地域

1971年の香港進出以来、ローカルパートナー、ローカルマネジメント、ローカルビジネス、ローカルスタッフを特長とするグローバルネットワークを築いています。



グループ従業員数

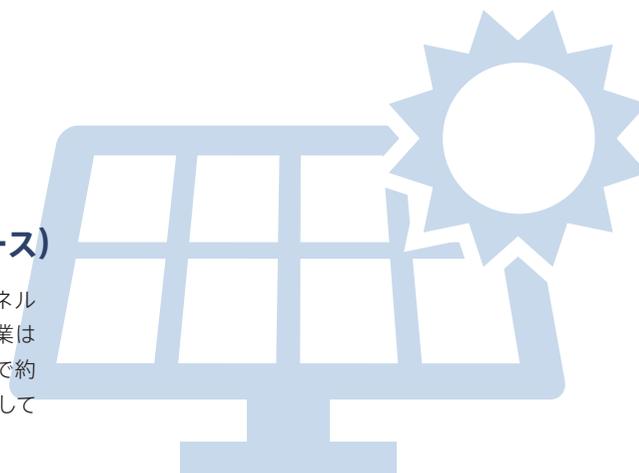
33,333 名

従業員13名でスタートしたオリックスは、現在世界各国で約3.3万人が働く企業へと成長しました。

太陽光発電事業

約**900** MWの最大出力
(確保プロジェクトベース)

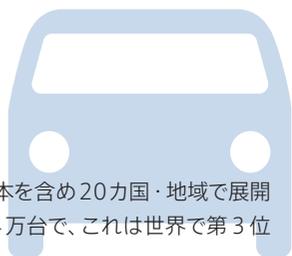
非金融事業の拡大を進めるオリックスは、再生可能エネルギー事業を重点分野の一つと位置づけ、太陽光発電事業は国内トップ規模に成長しています。2016年3月末時点で約900MWのプロジェクトを確保しており、順次発電を開始しています。



自動車リース事業

世界第**3**位

オリックスの自動車リース事業は日本を含め20カ国・地域で展開しています。車両管理台数は約154万台で、これは世界で第3位の規模となります。



航空機の保有・管理機数

約**130**機(うち約50機は自社保有)

約40年の業歴を誇る航空機リース事業の強みは、これまでに培ったマーケットでの目利き力、航空会社や投資家とのネットワーク、そして高い専門性に基づくアセットマネジメントサービスの提供にあります。



前期比株主数

約**2**倍

個人投資家向けの会社説明会や株主優待の拡充などにより、2016年3月末の株主数は前期の9.4万人から17.9万人と約2倍に増えました。



トップマネジメントの決裁権限

投資案件 **500** 万円超

オリックスの特長の一つはリスクを丁寧に見ることです。例えば、エクイティ投資案件は500万円を超えるものから、CEOをはじめとするトップマネジメントが審議の上で決裁します。



比較対象企業

ゼロ

オリックスは、多様な事業活動を行いながらも、ダイナミックかつ有機的に連携することで、より力を発揮し、新しい価値を生み出しています。このような企業は世界に類例がなく、「オリックス」という独自のビジネスモデルだと考えています。

